

寺井病院グループだより

寺井病院 地域連携室発行 923-1121能美市寺井町ウ84
TEL 0761-58-5500 FAX 0761-58-6015
http://terai-hospital.jp/



病院長 島 隆雄

コロナ禍に寄せて

長期化するコロナ禍の中で様が変わりしたことの中に、末期がんのターミナルケア、看取りが増えていることがあります。一時期、検診びかえや病院への受診びかえが見られた結果、癌が進行した状態ではじめて発見される事態となっています。

また、多くの入院施設で感染対策のため面会制限がおこなわれているため、「最期は自宅で過ごしたい」と在宅ケアを求める方も増加傾向にあります。

慢性期医療・在宅ケアを守備範囲とする当グループとしては、今後も地域の期待に応えられるよう努力を続けていきたいと考えております。

私たちのめざすもの

患者・利用者に寄りそい、患者・利用者とともに困難に立ち向かいます。

専門性を高め地域に信頼される質の高い医療・介護を実践します

寺井病院外来の紹介

外来部門では、「いつでも、どこでも、だれもが安心して良い医療を」を合言葉に、特に高血圧、糖尿病、などの生活習慣病、気管支喘息や腎不全などの慢性疾患を持つ方への支援を重視して取り組んでいます。

近年は「検査お勧めプラン」を作成し健康管理を図っています。患者様と相談しながら必要な検査の年間計画を作成し実行しているのですが、患者様自身の疾患管理の意識づけにもなっています。

通院が困難になってきた方には、継続して治療が受けられるように訪問診察・臨時往診も行っています。（右下のパンフ参照）

昨年、今年とコロナ禍で中断していますが、地域の方々の健康を守り促進できるための活動として「出前講座」や独自の「健康チェック」を地域に赴いて行っています。

今、長引くコロナ禍の中で、多くの方が、経済的不安や地域交流の減少に伴うストレスによって身体や心の健康に影響を受けています。

こうした中でも、安心して治療が受けられるよう感染対策を図り、患者様の健康を守るように奮闘していきたいと思っております。

外来看護師一同

外来入り口の様子です。感染対策でレイアウト変更しました。



寺井病院では **訪問診療** を行っています

こんな事で、悩んでませんか？

- 足腰が痛くて通院が大変！
- 家族の介助なしでは病院へ行けない
- 通院するのに交通手段がない
- 親が寝たきりで歩けない

定期的にご自宅へ診察に伺います！

安心して自宅療養を送れるようにサポートいたします。
気軽に外来看護師に相談ください。お待ちしております。

公益社団法人石川勤労者医療協会 寺井病院
電話 58-5500 FAX 58-6015

能美市、精神障害者2級も心身障害者医療費助成制度の対象に！

令和3年10月より、能美市において心身障害者医療費助成制度の対象に精神障害者手帳2級が加わりました。

心身障害者医療費助成制度とは、重度心身障害者の方々を対象に医療費を助成する制度で、病院や薬局で資格者証を提示することで、窓口での負担がなくなります。

石川県では昨年10月に精神障害者手帳1級が対象に追加されましたが、精神障害者手帳2級が対象になるのは石川県内では能美市が初めてです。

身体障害者や療育手帳の重度の方は、医療費のことを心配なく病院に受診することができます。

一方で、精神障害者は、認知症やうつ病で、日常生活に著しい制限を受けたり、労働が出来ない状態になっても、医療費助成が受けられませんでした。

精神障害者の方も、身体や療育の方と同様に、重度な障害をとらえれば、経済的に苦しい状態になるのは同じです。

身体、療育、精神の3障害は手帳に違いはあっても、同じような状態であれば同じような医療費助成が受けられるように、能美市以外の市町においても、精神障害者手帳2級が心身障害者医療費助成の対象に追加されることが必要であると考えています。

医療ソーシャルワーカー 新 栄治

<医療ソーシャルワーカーにお気軽にご相談ください！>

当院では経済的な理由で医療にかかる機会が奪われないように無料又は低額で診療を受けることのできる無料低額診療事業を行っています。対象は非課税世帯であるなど医療費の支払い困難な低所得者です。詳細は当病院医療ソーシャルワーカーにご相談下さい。

院内学習会の紹介

移乗動作の実践

毎年一回、職員の腰痛対策の一環で、移乗介助を行っている部署の職員を対象に移乗動作について学習会を行っています。

理学療法士を講師に、立ち上がり～移乗における重心移動の基本に、介助において患者・利用者の動きを介助者が邪魔していないかといった立ち位置や介助方法について学びました。



事例検討会

今年8月より各部署で対応に苦慮する事例、対応で上手くいった事例を共有する機会として事例検討会を始めました。

「認知症患者のストマ管理におけるトラブルとケアの在り方」「通所リハにおける卒業、意味のある作業に焦点を当てた関わり」「入浴拒否が続いた入所者さんへの取り組み」と行ってきました。

苦悩も多いですが、多職種で検討することで新たな気づきや提案が出され、視野を広げる良い機会となっています。

手取の里に新しい入浴機器導入しました

手取の里に新しい特殊浴槽が入りました。

乗り心地の良さに加えて感染対策も兼ねた浴槽機器で、ご利用者の方には安心安楽な入浴環境を提供できるようになりました。

右の写真は導入時の講習会の様子です。職員の身体的負担の軽減も図れればと考えています。

